再生可能エネルギー大量導入を想定した 予測型負荷周波数制御

首都大学東京 知能機械システムコース B4 宮本 楓雅 (児島研究室)

1. はじめに

近年、地球温暖化や資源枯渇の諸問題への懸念により 、陽光発電(PV)をはじめとする再生可能エネルギーの大量導入

が期待されている[1].

太陽光発電(PV)

- 気象衛星から取得した気象情報に 基づいて発電予測が可能.
- PV発電予測を系統制御に応用する ことが期待されている.

Fig.1 Photovoltaic power generation

Frequency Load

Fig.2 Demand-Supply balance of a power

PV等大量導入時の課題

- 発電量が周囲の環境に依存するため, 電力系統の安定性を損ねる.
- 調整用電源である火力発電の割合が 低下することによる調整力不足.

研究目的

- 系統の発電機を2種類に大別した発電機モデルの構築.
- 良好な周波数制御と調整力確保が同時に実現可能な予見LFC の設計と評価.

2. 出力制御を考慮した予見負荷周波数制御系

経済負荷配分制御(EDC:Economic-load Dispatching Control)

- 発電計画に基づき発電機を運転させ、経済的な運用を図る.
- 負荷変動の長周期成分(およそ20分以上)を担っている.

負荷周波数制御(LFC:Load Frequency Control)

- 時々刻々と変化する周波数を制御することにより需給を一致 させる制御.
- 負荷変動の短周期成分(およそ20分以下)を担っている.

予見負荷周波数制御系

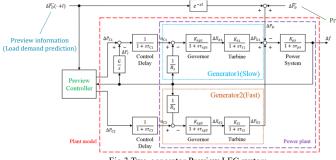


Fig.3 Two-generator Preview LFC system

- 仮想的なむだ時間要素により予見動作を表現.
- 負荷変動の予測情報 $\Delta \overline{P_D}$ を利用し制御を行う.
- 出力変化の異なる2台の発電機を並列に接続.
- 遅い発電機に積分補償を適用.

発電機ごとにPI制御を独立して設計したLFCに対して付加的に 予見補償を適用することで出力制御も考慮した予見LFCを構築.

従来型の予見LFC

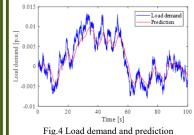
LFCで制御される発電機を区別せず、PI制御が一括して施さ れている.

制御の目的

 H^2 予見出力フィードバック則[2]を適用、予見制御による以下 の制御性能の改善を図る.

- 周波数変動Δƒの抑制
- 速い発電機の出力 ΔP_{G2} の $\frac{1}{4}$ 切制(遅い発電機の出力を上げる)

4. シミュレーション



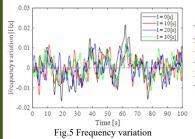
を制御に利用.

- 周波数変動の応答.
- 発電出力の応答.
- 周波数変動のRMS値.

を確認. 予見制御による制御性 能を評価する.

Generator1 (Slow)

負荷変動の予測値(Fig.4赤線)



0.005 40 50 60 Time[s]

Fig.6 Slow generator output

Generator2 (Fast) output [p.u.]

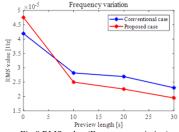


Fig.7 Fast generator output

Fig.8 RMS value (Frequency variation)

- 周波数変動が<mark>抑制</mark>されている様子が確認できる.
- 速い発電機の出力を大幅に抑制される様子が確認できる.
- 従来のLFCと提案するLFCにおいて周波数制御の性能に 大きな差異がない.
- 従来の予見LFCの周波数制御の性能を維持しつつ、同時に 発電機の出力を制御することが可能な設計である.
- 予見補償により、両方の制御性能の改善が可能.

おわりに

まとめ

- 周波数制御及び、発電出力の制御が同時に実現可能な予見 LFCの設計と予見制御による制御性能について評価した.
- 従来の周波数制御性能を維持しつつ発電出力の制御が行え ることから調整力の確保が可能な設計であることを示した.

今後の展望

- 複数地域から成る連携系統に対して、地域分散型予見LFCの 設計法の確立.
- 電気学会による標準解析モデル(AGC30モデル)を用いて予見 制御の効果について詳細な検証を行う.

- 林泰弘, 岡本浩, 濱坂隆, 伊奈友子, 坂本紀代美, "スマートグリッド学 戦略・技術 方法論",日本電気協会新聞部,2010
- [2] K.Hashikura, et al. "On implementations of H^2 preview output feedback law with application to LFC with load demand prediction", International Journal of Control, Vol.91, 2018

